

令和3年度あま市歯と口腔保健推進協議会次第

令和4年1月20日

1 報告事項

令和2年度あま市歯と口腔保健推進協議会会議録要旨について

令和2年度の歯と口腔保健推進協議会書面会議に対して委員から主に11の意見をいただきました。詳細につきましては、【参考資料1】のとおりです。

2 議題

(1) あま市歯科保健事業について

【資料1、2】・・・**別紙1** 参照

(2) 歯と口腔保健計画について

【資料3、4】・・・**別紙2** 参照

配付資料

【資料1】令和3年度歯科保健事業報告

【資料2】令和4年度歯科保健事業計画（案）

【資料3】令和3年度第2次歯と口腔保健計画に関する取組

【資料4】第2次歯と口腔保健計画中間評価報告書（案）

【参考資料1】令和2年度あま市歯と口腔保健推進協議会会議録

【参考資料2】あま市歯と口腔保健推進協議会委員名簿

議題

(1) あま市歯科保健事業について

【資料 1】

令和3年度のあま市歯科保健事業は左から、12月末現在の実績、今年度の見込み数、昨年度の実績が載せてあります。

昨年度は新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等により、当初予定されていた回数や内容での実施が困難となり、変更して実施しました。今年度はワクチン接種のため、前半は母子の教室等を一部変更し、電話や個別での相談が中心になりました。

今年度の実績の増加が見込まれる事業は、0歳児歯科健診、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健診、3歳児健康診査、保育園・幼稚園歯みがき教室、小中学校での歯みがき教室です。対象者数の増減により受診者数も増減していますが、2歳児歯科健診の受診率は12月末現在91.3%で、昨年度は中止していた期間もあったため今年度は増加しました。

1番のマタニティ教室は12月末現在13人の参加でそのうち2人が夫の参加でした。

8番の子育て相談（歯科）では歯が生え始めたけどどのようにお手入れをしたらいいか、歯みがきを嫌がるが何かいい方法はないかという相談が多いです。保護者の方とお話ししながら、少しでも保護者の不安を解消できる方法を一緒に考えています。

9番の保育園・幼稚園歯みがき教室は、令和2年度は集団での実施を中止し、資料配布での啓発となったため実績が0になっています。今年度は新しい生活様式に応じた方法で実施できるように考え、事前に園と話し合いをしました。

10番の歯と口腔の健康づくり教室は、美和東小学校で毎年行っていましたが、今年度から3年間は歯科医師会で実施されているバトンタッチ運動の実施校になり、そちらの方で実施されています。

13番の歯と口腔の健診は特定健診と同日実施していて、令和2年度と3年度は中止になりました。

14番のバウンス教室は令和3年度の新規の運動教室になり、その中で歯科の講話を行いました。

16番の歯と口腔の講話、20番の75歳以上の歯と口腔の健診、22番の前期歯の健康センターは、今年度は中止となりました。

23番の10020・9020・8020表彰は市内の協力歯科医院の先生方からの推薦や、広報等を見て申し込みがあった方に健診を受けていただき、その後該当の方を表彰しました。あま市の方であればどなたでも対象となるため市外の歯科医院に通われている方で表彰を受けられた方もいます。9020で表彰された方が3名、8020は37名でした。

【資料2】

令和4年度歯科保健事業計画（案）について

新規の事業は特にありませんが、来年度も感染予防対策を講じた上で実施していく予定です。

母子保健の乳幼児健診は対象者数を考慮し実施回数を決めているため、令和3年度より少し減っています。

9番から11番の保育園・幼稚園・学校はそれぞれ園や学校の要望に合わせ、回数や内容を決めているため、回数は随時になっています。

12番の歯と口腔の健診は令和2年度、3年度は中止になっていましたが、4年度は実施を予定しています。

14番のはつらつクラブは、介護予防の教室で今年度はすべての会場で行うことができませんでしたが、来年度は6会場すべてで実施できるように予定しています。

20番の前期歯の健康センターは歯科医師会が主催で行っている事業で、令和2年度、3年度は中止になっていましたが、来年度は海部歯科医師会と実施方法や内容を検討し、七宝会場で行う予定です。

(2) 歯と口腔保健計画について

【資料3】

歯と口腔保健計画に関する取組は、健康推進課だけではなく、学校教育課、高齢福祉課等の関係各課で取り組んでいるところです。

妊娠期・乳幼児期の10番目の取組内容、「成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。」では、各種教室で、身体的発達と、舌、口唇の動きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発しています。

児童期・思春期の13から21番では、小中学校において、かかりつけ歯科医を持つこと、おやつ選びや食生活の見直し、歯みがきや歯間清掃用器具の使用、成長に伴う口腔機能、8020運動等について、周知啓発を行っています。

青年期から高齢期の23番、29番、35番では、「口腔疾患と全身疾患の関係性」と「健口体操」についての啓発文書を、民生委員を通じて65歳以上の世帯へ配布することができました。保健センターを利用されない方に対して情報を届けることができる大変有効な方法と認識していますので、今後も民生委員にご協力いただき、継続して実施していきたいと考えています。他にも、はつらつクラブ、笑って元気スクールでもオーラルフレイルについての啓発を行うことができました。今後も65歳以上の方が集まる場で広げていく予定です。

【資料4】

I章はアンケート調査結果です。問2の、「今の歯で噛んで食べることができますか。」では、「十分に噛める」が67.8%、「まあまあ噛める」が20%と、噛める人の割合は87.8%となりました。世代が上がるほど、よく噛める人の割合は下がる傾向にありました。

問4の、「ご自分の歯と口腔の健康管理として、どのようなことを実践していますか。」では、「何もしていない」が、9.1%から6.5%と減り、すべての項目で、何らかの行動をしている方が増えています。「健口体操をしている」も1.1%から3.1%と増えています。

問5の「歯と口腔の健康と関連があることを知っているものを選んでください。」では、「いずれも知らない」が減り、誤嚥性肺炎が26.4%から42.4%と前回調査より大きく増えています。しかし、それ以外の病気の認知度は10%台以下と決して高くないのが現状です。

II章は目標達成状況です。全体的に改善傾向にあり、目標を達成しているのは、評価が◎、ほぼ達成しているのは○、変化のないものは△、悪化は×としています。年長児の「むし歯の無い人の割合」、中学3年生の「歯肉に炎症所見を有する者の割合」、中学2年生の「給食後の歯みがきを実施している人の割合」30歳代の「年1回以上の健診を受けている人の割合」、「成人の歯間部清掃用器具を使用している人の割合」の5つが目標値を達成しています。

Ⅳ章は、後期計画における指標の設定となります。令和3年度の目標値に達していない指標は、中間評価の目標値を採用しています。令和8年度の数値目標をすでに達成、またはほぼ達成しているものは、新たに数値を設定しました。

また、新たに「3歳児で不正咬合等が認められる者の割合」と「80歳の咀嚼良好者の割合」を指標として追加しました。

健康づくりを進めるためには、家庭はもとより、関係機関、地域、行政が互いに協力していくことが必要となります。今後も、目標の実現に向けて連携を図りながら進めます。